

No.	事業名等	施策体系	今後の取組	評価	方向性
1	地域見守りネットワークの推進	1-1-②、1-2-② 2-1-①、2-3-① 4-3-②	福祉出前講座に見守りネットワークに関するメニューを増やし啓発活動を積極的に進めていく。 コミュニティーソーシャルワーカーが地区懇談会（地域福祉懇談会）等を活用し、地区の取組状況を把握・診断し、地域の実状にあった支援を行っていく。	B（良好）	拡大・充実
2	地域福祉活動推進委員会活動の推進	1-1-②、1-2-② 2-1-①、2-3-① 4-3-②	未設置の4地区での委員会設立に向け、コミュニティーソーシャルワーカーが地域の状況等を把握しながら、趣旨説明会等を企画・実施し、委員会設立に向けた地域住民の意識醸成をはかる。委員会支援として、地域性、成熟度合を把握しながら、地域に合った支援方法を検討し、実施していく。	B（良好）	継続
3	地域福祉の担い手づくりの推進	1-1-②、1-2-② 2-1-①、2-3-① 4-3-②	今後も市民が地域福祉活動への理解を深め参加する場を提供すると共に、ボランティア活動につながっていくように支援が必要である。	B（良好）	継続
4	総合相談支援体制の充実	1-1-②、1-2-② 2-1-①、2-3-① 4-3-②	困難事例への対応を検討する「事例検討研修会」を定期的 に開催し、職員が高度な問題解決能力を身につけること で、あらゆる相談に対応できる相談支援体制の充実を目指す。	B（良好）	継続
5	コミュニティーソーシャルワーカー（CSW）による支援体制の充実	1-1-②、1-2-② 2-1-①、2-3-① 4-3-②	地域福祉の視点を持ち、問題解決能力の高い相談支援体制を整備するため、引き続き実践事例検討研修会を行っていく。また、地域福祉活動の活性化に向け、地域のニーズに即した支援、自主事業の開発を行っていく。	B（良好）	継続